

鏡川流域パートナーシップだより No.140 R6.5.21



新エネルギー・環境政策課では、高知市の清潔なまちのシンボルである鏡川の美しい景観や自然環境を保全するため、鏡川流域の自然と人、人と人との関わりとつながり(鏡川流域パートナーシップ)の拡大を目指しています。「鏡川流域パートナーシップだより」では、鏡川流域パートナーシップ推進に向けたさまざまな取組を楽しく紹介します！

大人も子どもも夢中になるアユの放流体験会！

5月20日(月)、鏡川漁業協同組合(以下、『鏡川漁協』と記載)主催の**アユの放流体験会**が行われました！トリム堰や高知市鏡庁舎付近など、鏡川の4地点で、地元の小学生がアユの稚魚を放流しました。トリム堰には、大学生や、旭校区で地域活動を行う方々などが参加し、アユに「大きくなってね！」などと声をかけながら放流体験を楽しみました！



旭小学校の3年生58名がトリム堰に集合！まず、鏡川漁協の戸田二郎専務から、鏡川やアユについての紹介がありました。



高知大学農林海洋科学部の今城雅之准教授とゼミの学生さんや、高知市上下水道局、高知県土木部など、様々な人が参加していました！



鏡川漁協の組合員さんなどが放流用のアユを手際よく準備していきます。バケツの中で元気よく跳ねるアユに、取材に来られていたテレビ局の方々も興味津々でした！



いざ、放流！アユの入ったバケツを鏡川にゆっくりと流していきます。「行ってらっしゃい！」「美味くなってね！」とアユに声をかける児童の皆さんを、参加者の皆さんが笑顔で見守っていました。



最後は大人も一緒に放流体験！

見学に来られていた地元の方々や高知市職員もバケツ

を持って鏡川に駆け出して、アユを放流しました！年齢を問わず誰もが夢中になって楽しめる、素敵な放流体験会でした♪



今回の放流体験会の様子は、高知県内のテレビ3局の夕方のニュースで紹介されました！まちのコイン「ぼっちり」で、web版の視聴ページをまとめています。ニュースでは、下流域のトリム堰と同時に放流を実施した上流域の土佐山学舎前の様子も紹介されています！

鏡川の上流・下流のつながりを実感できる貴重な放流体験会の様子をぜひご覧ください。



鏡川流域関係人口のつながりを可視化し、循環を促進するために、スマホアプリ「まちのコイン」を導入しました。高知市のコイン名称は「ぼっちり」です。鏡川がつなぐ山、川、海、人のたくさんの「ちょうどいい」関わりを未来へと繋いでいきたいという意味が込められています。ユーザー、スポット募集中です！

※「ぼっちり」の詳細については、こちらをご覧ください。

<http://cms4.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/machinocoin.html>

「まちのコイン」のインストール



iPhone

Android